



◇今回は、周戸大季さん（名古屋大学理学部化学科）のレポートです！

私は、名古屋大学理学部化学科に所属しており、学部4年生になる来年度から研究室に配属されます。実はこの文章を書いている現段階ではどの研究室に行こうか完全に決まっていませんが、自分の大学生活の様子や、これまでの生活で感じてきたことなどについて皆さんに伝えられたら良いなと思います。

勉学と進路について

皆さんは大学での勉強についてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

高校生の皆さんは日々勉強に励んでいると思いますが、大学に入ると自らが先行した分野に特化した内容を学ぶこととなります。よく受験勉強は役に立たないなんてことも言われますが、私は大学に入ってから勉強でも役に立つ場面があると思っています。大学では勉強が専門的になるため難しいと感じることもありますが、基本的な内容は高校の知識のような土台の上に立っていて、より深く学ぶことで本質が見えてくることがあります。

研究室配属前は、座学で有機化学や無機化学、分析化学など様々な分野の化学を学ぶとともに、学生実験という形で各研究室において研究されている内容の一端に触れながら実験の基本や座学で学んだ内容の理解を深めます。もちろんレポートは大変なのですが、実験で自らの手を動かして学ぶことは、座学では学びきれなかったことも吸収できるので、とてもやりがいを感じます。



図 1 学生実験で合成した有機分子で作成したサイリウム

これから研究室を決めていかなければならないのですが、まだ私はどこにしようか決めかねています。そこで、今、興味のある研究室において、研究内容や研究環境、研究室の雰囲気などをつかむために研究室見学をしています。大学1年生の時も、モチベーションづくりのために研究室見学をさせていただきました。しかし、その時はまだ化学の詳しい内容について勉強不足だったので、分からないことも多かったのですが、今は以前よりも知識があるので違った視点から研究室が見学できます。このようによく調べることで自分の納得のいくような研究室選びをしたいと思っています。ちなみに、これは大学受験にも言えることだと思っており、私は受験の時、進路について非常に悩んで進学したので、納得して勉

学に励めています。何より自分が好きな化学という分野について深く学べることは非常に楽しいです。皆さんも大学選びの中で迷うことがあると思いますが、よく考えることで後悔しない進路選択をして欲しいと思います。



図 4 岩場から遠くを望むライチョウ

図 4 乗鞍高原の夜空に広がる天の川



図 4 乗鞍富士見岳からの御来光

趣味やサークル活動について

ここまで堅苦しい話をしてきましたが、次は皆さんが大学生活で楽しみにしているであろうサークルなどについてです。私は大学入学当初、勉学をいかに深めるかといったことを中心に考えていました。しかし、大学生の特権は自由に使える時間が豊富にあることであり、学生のうちしかできないことは他にもたくさんあるということに気が付きました。それがサークルや旅行などの趣味です。

私は、生き物の観察と写真を撮ることが趣味で、名古屋大学生物研究会というサークルに所属しています。そのサークルには自分の知らない生き物に対する知識を持った人がいて、そういった人たちと合宿や旅行に行ったり、散策に行ったりしています。やはり同じ趣味を持つ仲間と、なおかつ自分の知らない知識を持った人と一緒に過ごすことは非常にためになるし、何よりとても楽しいです。

昨年のサークルの夏合宿では、乗鞍へ行きました。乗鞍の山では野生のライチョウ親子が至近距離で観察出来たり、憧れの高山植物だったコマクサの花を観察出来たりと、貴重な経験ができました。また、夜は天の川が見えたり、朝は御来光が見えたりと、非常に感動的な風景を目に焼き付けることができました。皆さんも大学生になれば、自分の時間がたっぷりあります。自由な時間のある学生時代のうちに

様々な場所に行き、いろいろな人に会うことで、人間的に成長できると思います。もちろん、大学へ行く目的は勉学に励むことにありますが、自らの個性を豊かにするという事も含まれていると思います。そういった意味では、サークル活動や部活動に打ち込んだり、何か趣味を見つけて挑戦したりするのに十分な時間があります。貴重な学生時間を有意義に過ごすためにも、ぜひ色々なことに挑戦し、様々な土地に行って現地でしか味わえない感動を肌で感じてみてください。

それでは皆さんの日々の努力が実り、将来、充実した大学生活が送れることを心から祈っています。



図5 乗鞍での夏合宿にて



図6 高校時代 化学グランプリ会場の東北大にて